

「郷土をみつめよう」
－郷土を愛し、ともに生きる北中生の育成－

1. Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、総合的な学習の時間を中心として、地域に根ざした教育活動を推進してきた。さらに地域との関わりを深めるために研究テーマを「郷土をみつめよう ～郷土を愛し、ともに生きる北中生の育成～」と新たに設定した。地域に密着した学習を系統的に行うとともに、持続可能な発展のための教育（E S D）を推進することを通して、「人間性豊かな北中生」をめざしている。

E S Dを確実に推進するために、全教職員で研修を深め、共通理解をしながらE S D年間指導計画の作成に取り組んだ。具体的には、今までの教育課程を見直し、新しい教科書に合わせた学習指導計画の作成をした。また、総合的な学習の時間を中心に「自然にふれる活動」、「旧東海道や瓜郷遺跡にふれる活動」、「地域の人にふれる活動」、「郷土の伝統や文化にふれる活動」を取り入れたE S D年間指導計画を作成し、実践を行っていくことにした。

このE S D年間指導計画を基にした実践を継続していくことで、自分の郷土の良さに気づき、郷土の誇りと愛着を育んでいくことができると考えている。

2. Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、E S Dを「追究する」の観点から、自分たちが暮らす町の文化や人のつながりについての学習を深め、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であるにとらえている。北部中学校では、進路・生き方・職業などキャリア教育を視野に入れた学習をすすめることで目的が達成できると考えている。そのためには、本校では4つの活動で、次の目標を掲げている。

(1) 自然にふれる活動

- ・校区クリーン活動（本校1年生徒、校区各小学校児童、地域住民）
- ・校区農業体験活動（本校1年生徒）

「大葉」をはじめ、園芸栽培が栽培が盛んである。校区の専業農家へ訪問する。インタビューをするだけでなく、実際に農作業をすることで自然に親しむようにする。

(2) 旧東海道の古い町並みや瓜郷遺跡にふれる活動

- ・旧東海道の町並み歩き、町探検、特色ある建物調べなど
町並みや建物を探索することで地域の良さに気づかせるようにし、郷土に愛着をもてるようにする。
- ・瓜郷遺跡の探索

「弥生時代から古墳時代」の学習で出土品や住居跡から当時の生活や産業を追究できるようにする。

(3) 地域の人にふれる活動

- ・レッツトライタイム（体験講座）
「学校祭」で地域の方々を講師として招聘し、普段の授業では体験できない活動を通して豊かな人間の育成を図る。
- ・人の生き方に学ぶ会（職場体験事前学習で地域の著名人を招聘）
- ・先輩と語る会（本校の卒業生を招聘）

(4) 郷土の伝統や文化にふれる活動

- ・豊麻神社等で行われる地域祭礼への参加
- ・各校区で実施される成人式や演芸大会への参加
「音楽部」の生徒が中心となって和太鼓や篠笛を演奏し、「かわきた太鼓」のすばらしい姿を披露する。

3. Execution (プロジェクトの実施)

北部中学校では、E S Dの目的を「追究する」の観点から、自分たちが暮らす町の文化や人のつながりについての学習を深め、持続可能な社会づくりの担い手を育てることができる教育であるにとらえ、その資質や能力の基礎的な部分を育てることが大切であると考えている。

北部中学校区には、旧東海道や瓜郷遺跡、豊川がある。一部であるが、古い町並みが大切に保存されていたり、弥生時代の遺跡が復元されたりしている。また自然環境にも恵まれ、豊川や豊川放水路に囲まれている。その中で、子どもたちが暮らしている地域について把握し、自分の思いを表現し、郷土を愛することができるようになれば、社会を把握し、ともに生きようとする子どもが育つと考えた。

そのためには、郷土学習に関する活動と行事等を関連づけた活動で、それぞれの目標を達成するために、特に次の活動に力点をおいて、各学年の活動を進めるためのE S D年間指導計画を作成し、実践している。

- ・自然にふれる活動（主に校区の清掃活動や農業体験活動に関すること）
- ・旧東海道の古い町並みや瓜郷遺跡にふれる活動（主に校区に残る建物や史跡に関すること）
- ・地域の人にふれる活動・学年別の取り組み（主に豊かな人間性に関すること）

全学年……………レッツトライタイム（学校祭の体験講座）

1年生……………人の生き方に学ぶ会（総合的な学習のテーマにそった専門家を招聘）

2年生……………人の生き方に学ぶ会（職場体験事前学習で地域の著名人を招聘）

3年生……………先輩と語る会（本校の卒業生を招聘）

- ・郷土の伝統や文化にふれる活動（主に校区に残る祭礼や演芸に関すること）

(1) 活動を進めるためのE S D年間指導計画（1年生の例）

1年生では、これまでの郷土学習のまとめとして、「地域の人」に重点をおき、下記のような「E S D年間指導計画」を作成して取り組んでいる。

例示 1年生のE S D年間指導計画

※□は地域の人に関するもの

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社 会	弥生時代 瓜郷遺跡		農業文化					江戸時代 東海道53次				
技術家庭	先人の衣服 遺跡の構造		農耕具					快適な住まい 食事の変化				
総合的な 学 習	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">校区クリーン活動</div> ※災害や環境について		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人の生き方 に学ぶ会</div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">農業体験活動</div>				
行事など	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊麻神社 校区祭礼</div> 入学式	クラスマッチ		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レッツトライ 学校祭</div> 野外活動		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">演芸 大会</div> 合唱コンクール		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">成人式 参加</div>		卒業式		

(2) 自然にふれる活動（主に校区の清掃や農業体験活動に関すること）

校区の川や公園、神社などを中学1年生や小学生、地域の住民らと合同でクリーン活動を実施している。農業体験活動も校区の専業農家を中心に行われている。



(3) 旧東海道の古い町並みや瓜郷遺跡にふれる活動（主に校区に残る建物や史跡に関すること）

古い町並みや遺跡を訪問し、当時の生活や文化を追究している。まとめたことを発表することで言語力向上をめざしている。さらに地域の良さを見つけ、郷土に愛着をもてるようにしている。



(4) 地域の人にふれる活動（主に豊かな人間性に関すること）

地域の方々を講師として招聘し、普段の授業では体験できない活動を通して豊かな人間の育成を図っている。また校区の専門家や著名人を招聘して講演会を実施している。



(5) 郷土の伝統や文化にふれる活動（主に校区に残る祭礼や演芸に関すること）

豊麻神社で行われる祭礼や演芸大会への参加を続けている。「音楽部」の生徒が中心となって和太鼓や篠笛を演奏し、「かわきた太鼓」のすばらしい姿を演出している。



4. Type of materials to be used (使用する教材)

- 「中学校 キャリア教育の手引き」 文部科学省 2011
- 「かがやく豊橋」社会科副読本 豊橋市教育委員会 2011
- 「定本豊川一母なる川--その悠久の歴史と文化」 郷土出版社 2002
- 「豊川用水と渥美農村 (愛知大学総合郷土研究所研究叢書)」 岩田書院 1997
- 「東海道五十三次ハンドブック―地図と名所・旧跡でたどる旅の小事典」 三省堂 1997
- 「新版・完全「東海道五十三次」ガイド」 講談社 2012
- 「東海道を歩く旅―宿場町と街道名所をめぐる特選 10 コース」 エコ旅ニッポン 2012
- 「日本歴史旅行地図帳」 成美堂出版編集部 2010
- 「日本の祭り 400 2012 年度版 (タツミムック)」 ムック 2012
- (自然にふれる活動) 豊橋市役所環境保全課、土木管理課
- (旧東海道の古い町並みや瓜郷遺跡にふれる活動) 豊橋市美術博物館、二川本陣資料館、
下地校区自治会、津田校区自治会
- (地域の人にふれる活動) ヤマサちくわ株式会社、豊橋市役所河川土木課、校区代表者
- (郷土の伝統や文化にふれる活動) 各校区自治会、豊橋手筒花火保存会、豊麻神社奉賛会

5. Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

生徒の理解と姿勢の評価は、次のように行う。

- ・生徒の様々な活動への取り組みの成果を残す。1年生でファイルを作成し、生徒の作品やワークシート・感想などをファイリングすることで把握する。
- ・学習や活動のまとめとして学級で発表する機会を設定する。表現する力や発信する力を伸ばさせる。学び合う場を設けることでさらに追究することができる。また、学級から選抜された生徒が学年発表会で披露する。発表会や追究活動全般で意欲や態度を観察して評価する。

上記の評価と共に、さらに下記のことを実施して、ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・学校行事が終わると「反省や感想」を記入することや、年二回実施されている「学校評価」により、「郷土学習の有効性」、「郷土の誇りと愛着についての意識変化」等の項目について尋ねるアンケートを保護者、生徒、教職員を対象に実施している。
- ・生徒の実態や地域の特色にそった教育課程になるように、今年度の実践を基にESD年間指導計画を見直し、郷土学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動レポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名(※直筆で))
Position, (校長) Institution's name (学校名)